

北大阪 商工組合 ニュース

2018年7月/第333号

URL <http://www.kita-osaka.co.jp/~kumiai>
E-mail kitashoko@leaf.ocn.ne.jp

6/22

今を!

先の戦争から学ぶ見学会

「戦没した船と海員の資料館」にて



今、自民党政府は安全保障関連法案を強行採決し、憲法を変えて戦争ができる国に向けての歩みを進めています。そんな今だからこそ、先の太平洋戦争で国家がいかに民間人やその器材・設備などを強制徴用し、無防備なまま戦線に送り出したのかを、組合員の皆さんと共に学びたいと思います。見学会を開催しました。

今だからこそ「あの戦争は何のためのものであったか」問い返す

海に墓標を―海員不戦の誓い―
「戦没した船と海員の資料館」
日本は周りを海に囲まれた国です。その上資源の少ない国土ですので、食料品から石油燃料、鉄の原料など、さまざまな物資を外国から輸入して経済を維持しています。1941年から45年にかけて、日本がアメリカ・イギリス・中国・オランダなど、世界の多くの国と戦った第二

「海員不戦の誓い」を後世に

壁一面に展示された圧倒されるほどの船舶の写真。全ての先戦争で、1941年12月から1945年8月までの4年間に南方海域、日本沿岸、周辺海域で戦没した船舶だ。軍艦ではない。民間の商船だ。この資料館は戦没商船の記録と戦没された船員を顕彰し、「海員不戦の誓い」を後世に伝える場として2000年に開設された。写真は各地の連絡船や機帆船、漁船など合計7240隻。船の姿はどれも美しく、ふと進水式や処女航海での誇らしげな姿やストリーを思い浮かべ感慨にふけてしまう。しかし、全ての船が雷撃や空爆を受けて沈み、今もなおその多くが海の底に眠っている。もちろん船に乗られていた

次世界大戦は、こうした認識を忘れた戦争だったので。このためたくさん船が戦争の犠牲になりました。戦争が終わった時、政府が発表した被害の総額は、官・民・一般汽船3575隻、機帆船2070隻、漁船1595隻などとなっています。

この資料館には、これらの船の在りし日の写真を展示しています。

あの戦争は何のためのものだったか、そういった反省をこめて平和について考える場所となっています。

館長さんの言葉より、
方たちの人生にも思いが及ぶ。犠牲になられた方は6万609

ヒタヒタと危うい足音が聞こえた

しかし、展示物の年表の中に注視すべき項目があった。1938年(昭和13年)に制定された『国家総動員法』だ。これは戦時に際し、国防目的達成のため、あらゆる人的および物的資源を統制運用する大幅な権限を政府に与えたもので、一種の白紙委任状とも言えるだろう。この法律により、民間の船舶が国(軍)に徴用され危険な航海をおこなった末、海深くに沈んだのだ。これは今の内閣が進める憲法改正の中に盛り込

9人。数ではない。6万609人分の人生が確かにそこにあったのだ。あまりにも尊い。組合員のNさんの父親は、正にこの写真のどれかの船に乗っておられたそう。今更なる情報を求めて参加してくださったが、残念なことに新しい情報は見つけれなかった。戦後70年が過ぎている。無理もない。

資料館としてもここ数年、なかなか新しい情報には巡り合えないそう。展示物の大半は個人からのもので、遺品を寄贈されるケースが増えて

いるらしい。たまたまその中にレアなものがあればラッキーだという。当時は14歳から船の仕事に就くことができ

「戦没した船と海員の資料館」

【場所】兵庫県神戸市中央区海岸通 3-1-6
全日本海員組合 関西地方支部 内
【開館時間】〈平日〉10:00～17:00
(入館は16:30まで)
〈休日〉土・日・祝
【TEL】078-331-7588 入館料は無料です。

たそうだが、戦禍を免れ、ご存命の方でも90歳近くになられている。記憶にも限りがあり、またこの資料館は、全日本海員組合の限られた年間予算内、しかもたった5人で運営されている。手を尽くすにも限界があるだろう。

子どもたちと考える
戦争と平和展
in 高槻・島本 2018

8/8水・8/12日
9:30～19:00 (最終日のみ18:00まで)
高槻市立生涯学習センター
1階展示ホール 入場無料

二度と戦争をさせない、
起こさないために

主催 子どもたちと考える
「戦争と平和」展
in 高槻・島本 2018 実行委員会
電話 070-1809-1290

もうとしている「緊急事態条項」と重なる。非常事態の際に政府に権限を集中させ、国民の権利を制限するという内容だ。もちろん大前提は「大災害や他国からの武力攻撃に備えて」である。しかしこの宣言が発せられると、国民は政府の命令に一切ものが言えなくなる。運用の範囲は無制限だ。歴史は繰り返されるという。しかし過ちは決して繰り返してはならない。静かな展示室でヒタヒタと危うい足音が聞こえたのは私だけではないはずだ。(事務局 山田 恵麻)

大阪北部地震・西日本を中心とした豪雨により被災された皆さまにお見舞い申し上げます

6月18日の朝、大阪北部を震源とした大きい地震が発生しました。また7月上旬、広い範囲で記録的な大雨が降り、各地で大きな被害が発生しました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

北大阪商工協同組合 理事会

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》